

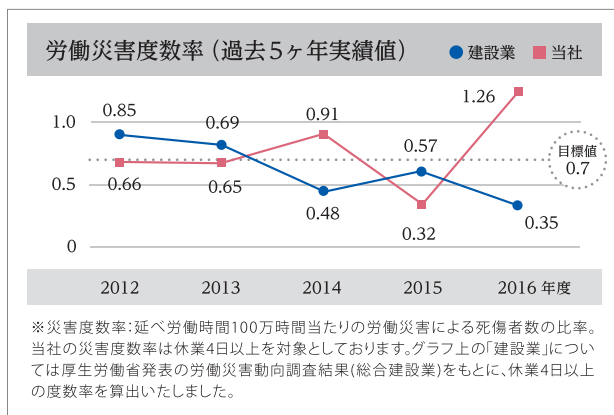
「安全第一」を使命として

無事故無災害の現場をめざして

●労働安全衛生への取り組み

全員が本気で築く安全文化

「全員が本気で築く安全文化」をスローガンに掲げて2013年度からスタートした5ヶ年安全衛生管理計画。残すところあと2年となった2016年度は、休業4日以上以上の災害が14件発生(国内)、度数率は1.26となり前期と比較すると激増し、2期連続の目標値0.70を達成できませんでした。



休業災害の内容をみると、建設業特有の墜落・転落災害が当社においても多発し、また骨折を伴う重篤な災害に至っています。特に高さ2m未満の可搬式作業台や脚立等からの転落が多くを占めています。

本年度は、全員が基本に立ち返り、確実な現地確認と点検の実践による現場第一主義を徹底し、実効あるリスクアセスメントによる先取り安全管理を実施することで、安全意識と危機意識の高い組織的な安全衛生管理活動を推進することを重点施策としています。

具体的には、自主的な安全衛生管理活動を推進するとともに、不安全行動による災害を防止、「動作の前の安全確認、指差し呼称の実践」を引き続き推進するとともに、「声かけ合い運動」を展開し、現場内のコミュニケーションのさらなる活性化を図ります。



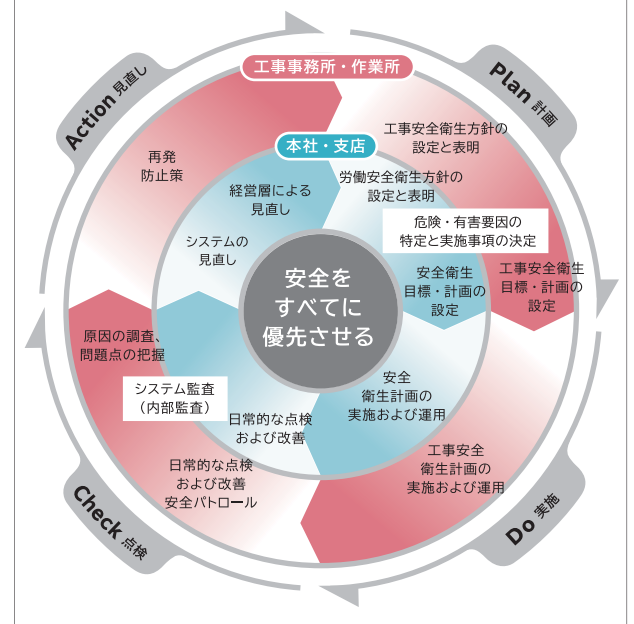
労働安全衛生マネジメントシステム

当社独自の「東亜労働安全衛生マネジメントシステム (TOHSMS)」を運用し、事前に危険・有害要因を排除するリスクアセスメントを主体とした安全衛生管理を実施しています。

労働安全衛生方針

法令遵守のもとに『安全をすべてに優先させる』を社内文化として根付かせ、公衆災害および業務上疾病を含めた労働災害を起こさないとともに、健康を増進させ、快適な職場環境を作ります。

THOSMSにおけるPDCA

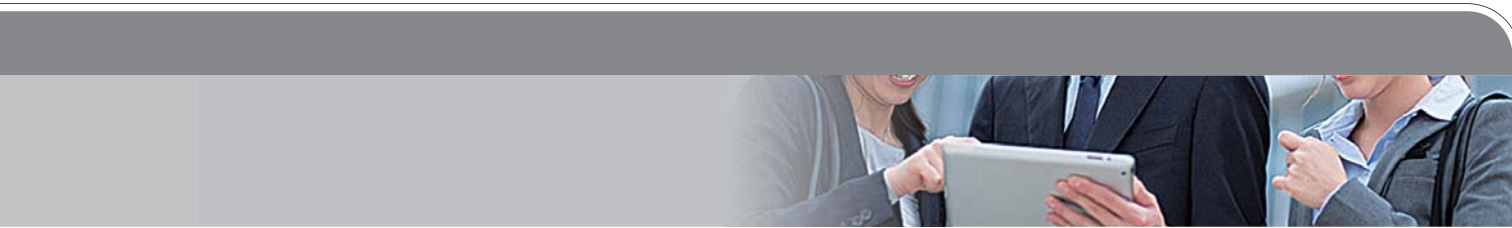


安全衛生管理活動

当社では、全国安全週間や年末年始労働災害防止強調期間、年度末労働災害防止強調月間等の期間中に、経営トップをはじめとする経営幹部が積極的に安全パトロールを実施するなど、全社を挙げて安全衛生管理活動を展開しています。



副社長による安全パトロール



安全の誓い

2009年4月14日、重大な公衆災害を発生させたこの日を「安全の日」と定め、あらためて事故の悲惨さを再認識するために、毎年各職場で特別安全大会等を実施しています。8年目を迎えた今年も役員一同が事故の発生時刻に合わせて社長メッセージとともに、「忘れまじ4.14」の宣言のもと黙祷を捧げ、二度とこのような災害を起こさないことを全員で誓いました。



“安全の日”宣言ポスター

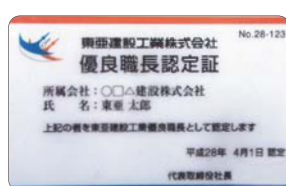
優良職長認定制度の導入開始

当社は、2016年度より新たに「優良職長制度」を導入しました。職長は現場の安全衛生・環境・品質に関わる業務全般における要であり、その推進役です。今般、職長のなかでも、実績・貢献度・人格等、特に優秀な人を対象に「東亜建設工業株式会社優良職長」の称号を授与し、現場における権威・格付けを行うことにより、リーダーとしてさらなる気概をもって現場全体の活性化・生産性向上に寄与していただくことを目的とした制度です。初年度の2016年度は優良職長が39名認定されました。また、2017年度においても新規に14名の優良職長が認定されました。

優良職長認定状況 (人)			
	土木	建築	合計
平成 28 年度	28	11	39
平成 29 年度	9	5	14



優良職長として
胸章をつけて意識を高める



優良職長認定証として交付

協力会社事業者安全研修会の実施

全国各支店の安全衛生協力会会員企業に対し、事業者責任等をテーマに、支店ごとに事業者安全研修会を実施し、当社と協力会が一体となって、安全管理水準の向上を図っています。



事業者安全研修会

階層別安全衛生教育の実施

経験と等級に応じた階層別安全衛生教育として、入社2年次よりおよそ3年ごとに5段階の集合教育を実施し、「安全をすべてに優先させる」人材の育成に取り組んでいます。

また、当社グループ会社の社員も含めた合同教育として、東亜グループ全体の安全衛生管理レベルの向上をめざしています。

■ 建設技術者初任者教育	2年次（環境管理教育を含む）
■ 統括管理初任者教育	入社5年目以上
■ 統括管理責任者教育Ⅰ	入社8年目以上
■ 統括管理責任者教育Ⅱ	入社11年目以上
■ 統括管理責任者教育Ⅲ	入社14年目以上

「見える」安全活動コンクール

2016年度で6年目となる、厚生労働省 あんぜんプロジェクト主催の本コンクールに、当社は28件応募し、その中から9件が優良な活動事例として選考され、同省のホームページで紹介されました。

